

第19回 神奈川臨床甲状腺研究会

日 時：2023年6月28日(水) 19:00~20:50

開催形式：ハイブリッド形式

現地会場：富士フィルム和光純薬株式会社 東京本店

Web開催：ZOOM 配信

第19回当番世話人：福島 光浩（昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター）



プログラム

メーカーインフォメーション 19:00～19:15

症例報告 19:15～19:45

座長：益戸 功彦（神奈川県立がんセンター 内分泌外科）

講演 10分・質疑 5分

発表者Ⅰ 19:15～19:30

① 甲状腺穿刺吸引細胞診後の一過性甲状腺腫大の一例

船岡健太郎、菅沼伸康、末石結衣、安川美緒、松原由佳、亀田洋平、石川善啓、利野 靖、齋藤 綾

横浜市立大学附属病院 外科治療学 乳腺・甲状腺外科

発表者Ⅱ 19:30～19:45

② 穿刺吸引細胞診による頸部出血で喉頭浮腫を来たし緊急手術を要した1例

吉岡佳奈、空閑陽子、松井愛唯、斎藤慶幸、正木千恵、赤石純子、ヘイムス規予美、岡村律子、友田智哲、鈴木章史、松津賢一、北川亘、長濱充二、杉野公則、伊藤公一
伊藤病院 外科

特別講演 19:45～20:50

座長：福島 光浩（昭和大学横浜市北部病院 外科・甲状腺センター）

日本乳腺甲状腺超音波医学会による甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格の概要と甲状腺穿刺の医療安全

演者：志村 浩己（福島県立医科大学 医学部 臨床検査医学講座）

甲状腺穿刺吸引細胞診後の一過性甲状腺腫大の一例

船岡健太郎、菅沼伸康、末石結衣、安川美緒、松原由佳、亀田洋平、石川善啓、利野 靖、
齋藤 綾
横浜市立大学附属病院 外科治療学 乳腺・甲状腺外科

【はじめに】

甲状腺穿刺吸引細胞診（fine needle aspiration biopsy, 以下 FNA）は、一般的に安全性の高い検査とされているが、様々な合併症を伴う場合がある。今回我々は FNA 後に一過性甲状腺腫大を来した症例を経験したので報告する。

【症例】

78 歳女性。脳出血（橋出血）で前医入院中に施行された CT で甲状腺左葉に 13 mm 大の低吸収域を指摘され、精査目的に当科紹介受診した。常用薬として direct oral anticoagulant（DOAC）を内服していた。来院時の頸部超音波検査で甲状腺両葉に結節を認め、左葉の結節に対して両悪性の鑑別のために FNA を施行したところ、穿刺中に頸部疼痛を訴え、超音波画像で急速な甲状腺腫大を認めた。穿刺による一過性甲状腺腫大を疑い、検査を直ちに中止して、ハイドロコルチゾン 100mg を点滴静注した。3 時間後症状は軽快し、超音波画像でも腫脹の改善を認めた。経過観察目的に入院としたが、症状再燃なく翌日退院した。

【考察】

FNA は一般的に安全性の高い検査とされているが、様々な合併症を伴う場合がある。重篤な合併症として、頸部腫脹やそれに伴う気道圧迫・上気道閉塞が挙げられる。頸部腫脹には、血腫によるものと一過性甲状腺腫大によるもの 2 つの機序があると言われている。本症例では DOAC の内服があり血腫のリスクは高かったが、超音波画像で急速な甲状腺腫大と両側びまん性の割れ目状の低エコーを認めたため一過性甲状腺腫大を疑い、速やかなステロイド投与により症状は改善した。臨床経過と甲状腺超音波検査の所見について文献的考察を加えて報告する。

穿刺吸引細胞診による頸部出血で喉頭浮腫を来たし緊急手術を要した 1 例

吉岡佳奈、空閑陽子、松井愛唯、斎藤慶幸、正木千恵、赤石純子、ヘイムス規予美、岡村律子、友田智哲、鈴木章史、松津賢一、北川亘、長濱充二、杉野公則、伊藤公一
伊藤病院 外科

超音波ガイド下穿刺吸引細胞診は甲状腺腫瘍の鑑別に欠かせない検査であり、多くの施設で実施される一般的な検査である。低侵襲で安全な検査と考えられているが、時に穿刺後の急速な甲状腺腫大、出血による呼吸困難や手術例、死亡例も報告されている。このたび、穿刺吸引細胞診による頸部出血で喉頭浮腫を来たし緊急手術を要した症例を経験したため報告する。

症例は 58 歳女性。1992 年バセドウ病と診断。2019 年に寛解するも、2020 年 1 月より再燃し MMI 内服治療中であつた。甲状腺峡部に微小乳頭癌を否定できない低エコー域を認めたため、2023 年 1 月 X 日超音波ガイド下穿刺吸引細胞診施行。穿刺針は 22G、穿刺部位は峡部右 0.9cm・峡部左 0.5cm の結節 2 カ所であつた。細胞診施行時の甲状腺機能は正常、抗凝固薬の内服はなかつた。検査施行 2 時間後の帰宅途中に頸部腫脹を自覚。当院に問い合わせあり、再受診を指示。検査施行 3 時間後に病院着。頸部はびまん性に腫大し緊満感を認め、頸部超音波検査にて血腫が疑われた。この時点の喉頭ファイバースコープでは、喉頭浮腫は認めなかつた。同日、経過観察目的で入院。検査施行 6 時間後より頸部腫脹が増悪し、嘔声と呼吸困難感が出現。喉頭ファイバースコープ検査にて両側披裂部の浮腫を認め、気道閉塞の可能性があると判断し経鼻気管挿管を施行した。出血のコントロール、気道確保、頸部浮腫の改善とバセドウ病・結節性甲状腺腫の根治治療目的で、細胞診施行翌朝に甲状腺全摘・気管切開術施行。術後経過は良好で、術後 9 日目に退院となつた。

当院では年間約 6300 件の穿刺吸引細胞診を施行しているが、このような症例は初めての経験であつた。この症例をきっかけに、当院でも細胞診施行時の同意書取得が開始された。穿刺後の腫脹は可能な限り再受診させ的確に対処すること、甲状腺穿刺吸引細胞診の合併症を、医師をはじめ看護師や臨床検査技師などスタッフ皆が十分理解することが重要であると考えられた。

日本乳腺甲状腺超音波医学会による甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格の概要と甲状腺穿刺の医療安全

志村 浩己

福島県立医科大学 医学部 臨床検査医学講座

甲状腺結節の診断において穿刺吸引細胞診（FNAC）と太針生検（CNB）は必要不可欠の検査である。甲状腺穿刺には、出血、穿刺後甲状腺腫脹、反回神経麻痺、気胸などの合併症のリスクがあり、生命を脅かす程の合併症の報告もある。これらの合併症は、極めて稀であるものの、医療安全上としては事前説明を可能な限り書面で実施し、発生時の対応を取り決めておく必要がある。

一方では、正確な診断のための適切な穿刺手技の習得が重要であるとともに、甲状腺癌の過剰診断のリスクへの対応のため、甲状腺穿刺の実施基準とそのための超音波所見の評価の標準化も重要である。このような背景の中、日本乳腺甲状腺超音波医学会（JABTS）は、結節性甲状腺疾患の診断フローチャートの提示や、穿刺技術の向上に向けた教育活動を実施してきた。さらに、これらの取り組みを推進するため、「甲状腺ガイド下穿刺診断専門医」資格を創設することとなった。

また、甲状腺 FNAC は診療において実施件数が多く、臨床検査技師などの医療スタッフが穿刺適応評価のための超音波検査、穿刺部位の決定、穿刺補助、細胞診診断に適した標本作成など、極めて多くの業務に関与しており、医療スタッフのレベルアップも欠かすことができない。そのため、JABTS では「甲状腺超音波ガイド下穿刺コーディネーター」資格も同時に創設することとした。

本講演では、甲状腺穿刺に関し、関連ガイドラインや医療安全を含めて概説するとともに、JABTS の専門資格についても概要を説明させていただきたい。

神奈川臨床甲状腺研究会 演題一覧				
第1回	2013年 10月31日	甲状腺疾患のプライマリーケア	座長	川崎幸クリニック 副院長 九島健二 先生
			演者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授 谷山松雄 先生
		甲状腺疾患と無機ヨード	座長	東海大学医学部付属病院 腎内分泌代謝内科 准教授 佐藤温洋 先生
			演者	医療法人社団 白寿会 田名病院 院長 阿部好文 先生
第2回	2014年 7月10日	甲状腺疾患に対する超音波 診断 Up to date	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師 大塚史子 先生
			演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		ケースカンファレンス	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授 谷山松雄 先生
			演者	川崎幸クリニック 副院長 九島健二 先生
		甲状腺癌の基礎知識	座長	横浜関内わだクリニック 院長 和田修幸 先生
			演者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 部長 吉田明 先生
第3回	2015年 3月5日	ケースカンファレンス	座長	横浜関内わだクリニック 院長 和田修幸 先生
		難治性バセドウ病に対する 術前コントロール	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 助教 玉置秀司 先生
		甲状腺疾患合併妊娠の症例	発表者	長谷川内科クリニック 院長 長谷川眞 先生
		妊娠と甲状腺について	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授 谷山松雄 先生
			演者	国立成育医療研究センター 周産期診療部 母性内科 荒田尚子 先生
第4回	2016年 1月23日	ケースカンファレンス	座長	横浜関内わだクリニック 院長 和田修幸 先生
		気道感染症を契機に気道 閉塞に至った巨大甲状腺を 伴う甲状腺亢進症の1例	発表者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師 佐藤尚太郎 先生
		甲状腺機能低下症の治療	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
			演者	東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター 客員教授 坪井久美子 先生

第5回	2016年 7月13日	ケースカンファレンス	座長	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 部長 岩崎博幸 先生
		当科における甲状腺微小癌の治療戦略	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
		Lenvatinib 治療でPRとなった甲状腺未分化癌の1例	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 山崎春彦 先生
		ATA ガイドラインから見た甲状腺腫瘍癌の取り扱い	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
			演者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 医長 菅沼信康 先生
第6回	2017年 1月18日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		診断が難しかった甲状腺機能亢進症	発表者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 助教 飯田達也 先生
		甲状腺機能亢進症の薬物治療	座長	長谷川内科クリニック 院長 長谷川眞 先生
			演者	川崎幸クリニック 副院長 九島健二 先生
第7回	2017年 7月19日	ケースカンファレンス	座長	さとう内科クリニック 院長 佐藤尚太郎 先生
		任意型検診で見られる甲状腺の結節病変の検討 ～PET 検査も含め～	発表者	ゆうあいクリニック診療部 部長 桑田有希子 先生
		腺腫様甲状腺腫に合併した血管腫の一例	発表者	聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 助教 岩谷胤生 先生
		甲状腺良性結節の臨床	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
			演者	伊藤病院 副院長 杉野公則 先生

第 8 回	2018 年 1 月 19 日	ケースカンファレンス・研究 発表	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師 大塚史子 先生
		MIBI シンチ・甲状腺エコーに て多腺腫大が疑われた原発 性副甲状腺機能亢進症の 1 例	演者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 助教 小泉剛 先生
		赤外線蛍光検出システムを 用いた術中副甲状腺検出	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
		原発性副甲状腺機能 亢進症：診断と治療	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
			演者	医療法人福甲会 やました甲状腺病院 理事長・院長 山下弘幸 先生
第 9 回	2018 年 7 月 11 日	症例報告	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		当院における放射性ヨード 内用療法の現状	演者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 山崎春彦 先生
		複数回外来 30mCi RI- ablation を施行した症例の 検討	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 助教 坂上聡志 先生
		パセドウ病のアイソトープ治療	座長	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 部長 岩崎博幸 先生
			演者	野口病院 副院長・統括放射線部長 野口靖志 先生
第 10 回	2019 年 1 月 23 日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		妊娠合併パセドウ病患者の 1 例	発表者	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター 洲之内堯 先生
		当科で経験した妊娠中の 甲状腺手術	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 准教授 福島光浩 先生
		甲状腺疾患と妊娠・出産 up-to-date	座長	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター センター長 齋藤淳 先生
			演者	東京予防医学協会 内分泌科 部長 百溪尚子 先生

第 11 回	2019 年 7 月 17 日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター センター長 福成信博 先生
		チアマゾール内服後 関節 炎症を呈した 1 例	発表者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 講師 遠藤慶 先生
		TRAb 陰性の甲状腺機能 亢進症に対する SPECT/CT の有用性	発表者	伊藤病院 内科 杉澤千穂 先生
		バセドウ病の薬物治療に ついて	座長	ゆるぎない愛の会中島内科クリニック 副院長 向笠浩司 先生
			演者	伊藤病院 内科 医長 吉原愛 先生
第 12 回	2020 年 1 月 29 日	ケースカンファレンス	座長	横浜市立大学附属病院 乳腺・甲状腺外科 診療講師 中山 博貴 先生
		Dicer1 症候群の一例	発表者	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 菅原 裕子 先生
		West 症候群に生じた甲状腺 乳頭癌の一例	発表者	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 佐野 太一 先生
		福島県県民健康調査 「甲状腺検査」からみえてきた 小児・若年者の結節性 甲状腺疾患の実像	座長	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 講師 益戸 功彦 先生
			演者	福島県立医科大学医学部 臨床検査医学講座 主任教授 志村 浩己 先生
第 13 回	2020 年 7 月 8 日 (中止)	症例報告 未決定		
		演題未決定	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 長坂昌一郎 先生
			演者	上條甲状腺クリニック 院長 上條桂一 先生
第 14 回	2021 年 1 月 27 日	症例報告	座長	横浜市立大学病院 外科治療学 講師 菅沼伸康 先生
		甲状腺に直接浸潤のみられた 脱分化型脂肪肉腫の 1 例	発表者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 佐々木 栄司 先生
		針生検にて未分化癌を疑い 切除した微小浸潤型濾胞癌 の 1 例	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 レジデント 村山大輔 先生
		甲状腺の病理と細胞診、最 近の話題	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター外科 准教授 福島光浩 先生
			演者	昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 教授 亀山香織 先生

第 15 回	2021 年 7 月 7 日	症例報告	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 准教授 大塚史子 先生
		バセドウ病加療中に TRAb 高値と甲状腺機能低下を示した症例	発表者	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター 渡邊一樹 先生
		無機コードで治療開始後に TSBAbs 陽性の甲状腺機能低下症を呈した高齢者 Basedow 病の一例	発表者	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 講師 黄川恵慈 先生
		TRAb からみたバセドウ病診断と無痛性甲状腺炎の新分類	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 長坂昌一郎 先生
演者	上條甲状腺クリニック 院長 上條桂一 先生			
第 16 回	2022 年 1 月 19 日	症例報告	座長	横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺 講師 益戸功彦 先生
		膵炎合併高 Ca 血症を伴う副甲状腺癌を ECMO 補助下で切除した 1 例	発表者	平塚共催病院 外科 豊田まどか 先生
		二次性副甲状腺機能亢進症に合併した左副甲状腺癌の 1 例	発表者	横須賀市立うわまち病院 外科 横山亘 先生
		副甲状腺疾患の診断と治療	座長	平塚共済病院 乳腺内分泌外科 部長 中山博貴 先生
演者	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 副院長 竹内靖博 先生			
第 17 回	2022 年 7 月 13 日	症例報告	座長	さとう内科クリニック 院長 佐藤 尚太郎 先生
		炭酸リチウムによる甲状腺機能異常	演者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター内科 講師 飯坂 徹 先生
		免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能異常	演者	みなとみらいクリニック 院長 淡野 宏輔 先生
		免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害 Update	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 准教授 國井 葉 先生
演者	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 准教授 楨田 紀子 先生			

第 18 回	2023 年 1 月 25 日	症例報告	座長	横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 助教 山崎 春彦 先生
		当院での Selpercatinib の 使用経験-甲状腺髄様癌 (MEN2B)の1例-	発表者	横浜市立大学附属病院 乳腺・甲状腺外科 角谷 芽依 先生
		進行甲状腺癌におけるがん遺 伝子検査	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 戸田 宗治 先生
		遺伝子パネル検査と がんゲノム医療	座長	横浜市立大学 外科治療学 講師 菅沼 伸康 先生
			演者	国立がん研究センター中央病院 臨床検査科 医員 角南 久仁子 先生